

## 順天堂大学 海外英語研修プログラム イン コロラド大学ボルダー校

【実施期間】 : 2019年8月19日(月)～9月18日(水) 31日間

【研修プログラム実施場所】 University of Colorado at Boulder

Division of Continuing Education International English Center

【研修目的】 研修プログラムを通し、参加者が異文化を経験し、コミュニケーションの手段としての英語学習の重要性を認識し、広い視野で思考する基盤を作ることを目的とする。海外で実際に滞在し、日本人以外の国の人々と交流することにより、その後の教育・研究に対する国際感覚を育成する。

【研修プログラム内容】

- ① 英語授業 (Pronunciation, Culture/Activity Preparation, Communication Skills などコミュニケーションスキル中心のクラス。英語習熟度別クラス。
- ② 課外活動・コミュニティの視察。
- ③ ホームステイにより異文化を経験する。

【研修報告】

私は夏季休暇中にアメリカのコロラド州へ約1ヶ月間の語学留学に行ってきました。コロラドでの生活で私の英語学習に対する意欲がさらに高まったと感じています。

出発前、高校時代からそれまで英語のリーディングばかりを勉強してきた自分は1ヶ月も向こうでしっかり会話することができるかが非常に不安でした。そして、その不安は飛行機を降りた直後にさらに大きくなりました。空港内の案内役の方が話していることが本当に分からなかったのです。訳が分からぬままとりあえず周りの人について行き、大きな不安を抱えたままホストファミリーと合流しました。ホストファミリーと最初に出会った時、中学校の英語の教科書通りの挨拶と極度の緊張によりとにかく Thank you と何度も言っていたことを今でも覚えています。



ホストファミリーとの時間が私にとってこの留学で最も大切な時間であり、英語について多くの学びを得たと思っています。ホストファミリーは父、母、男女の双子の4人家族で犬を1匹飼っていました。家族全員が優しく私が快適に過ごせるよういつも気配りをしてくれました。また、リスニングとスピーキングが苦手な私に合わせて遅めに話してくれたり私が伝えたいことを言い切るまで話を聞いてくれました。語学学校は午前で授業が終わるので、午後はほぼ毎日暗くなるまで双子と、そしてその友達と一緒にキックベースをしたり鬼ごっこのような遊びをしたりしました。夕食ではその日の出来事や日本について話をし、夜はテレビゲームやボードゲームをしました。こういった生活の中で自分が少しずつ英語に慣れていることを実感できました。また、週

末は必ずハイキングやピクニックに連れて行ってもらい、その土地の魅力にも気付くことができました。

語学学校では、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングの4技能を満遍なく学びました。私のクラスには、日本人の他に中国人や韓国人、サウジアラビア人、コロンビア人など様々な国籍と年齢の人がいました。クラスはレベルごとに分けられているのですが、周りのクラスメイトは私よりも流暢に英語を話し、先生の言っていることを漏らすことなく理解していたので焦りました。しかし、文章の読解力においては日本人の方が少し高いように思い、国ごとの英語学習の仕方の傾向によってこのような違いが生まれるのではないかと感じたりもしました。どの授業でもグループワークやペアワークが多く、自然と自分の考えを英語で伝える機会が多くなり、非常にアクティブで良い授業だったと思います。クラスの全員が優しくフレンドリーで、授業の後に一緒に食事をしたり、ゲーム大会やフットサルをしたこともありました。素敵な先生と仲間恵まれ毎日が楽しく新鮮でした。また、一度だけアメリカの大学で日本語を専攻している学生と交流する機会がありました。その方は日本語を勉強し始めて2年と話していましたが、既に日本で生活できるレベルで会話ができて、中学から英語学習が始まった私にとっては非常に衝撃的でした。どのように日本語を勉強しているのか尋ねたところ、日本のアニメを見て覚えたらしく、私は今後海外映画は英語音声英語字幕で見ることを決めました。

私は、コロラドでの1ヶ月で英語だけでなく多くの学びがありました。街並みや生き物、地形や気候など様々なものが日本とは異なっていて全てが新鮮でした。また、そこで暮らしている人々は皆明るく親切で海外特有の人柄の良さのようなものを感じることができました。最初はスターバックスでコーヒーを注文することすらままならず、不安と緊張に押しつぶされそうでしたが、本当の家族のように私を大切にしてくれるホストファミリーや毎日遊んだ近所の子ども達、消極的な私に対していつも明るく話しかけてくれた語学学校の仲間達、彼らのおかげで快適且つ有意義に1ヶ月を過ごすことができました。語学学校の最終日、私は皆の前で最後のスピーチをしました。何度も言い直したり、適切な言葉が出てこず止まりながら話しました。この1ヶ月での語学力の成長はほんの小さなものでした。しかし、私はコロラドでの生活で改めて英語に対する気持ちが強くなりました。今度彼らと話す時は伝えたいことを自然に話せるようになりたい、いつ

かまたあの地で生活したいという明確な目標が私の英語学習への意欲を掻き立てています。

(スポーツ科学科2年 熊谷匡晃)

